

## 選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



### 小埜 正義

(千葉/88期)

7月岐阜の落車は鎖骨、ろっ骨の骨折でした。ここかな?ここかな?と思いながら復帰できず、結局2カ月以上欠場してしまいました。レース勘の不安以上に地元を走れるっていう気持ちの方が強い。3割増しで乗り切ってやろうと思っています。

### 田中 晴基

(千葉/90期)

最近も練習方法とか色々試してリズムを崩してる感じがします。体調はずっといいし、やりたい練習はできてるので、ここまできかみ合ってくれば。一生懸命走るのはいつもと変わらないけど、地元なので出し切るだけじゃなくて結果も出したい。



### 木村 弘(青森/100期)

相変わらず競走は積極的で、直近4カ月の連がらみは9割が逃げてのもの。ややゴール前の詰めを欠いての2、3着が目立つものの、7月青森2②②着、8月函館も2②②着など、決勝でも好勝負に持ち込んでいる。



### 福永 大智(大阪/113期)

今期は初のS級戦。A級時はまくりに頼る傾向が見られたが、S級では仕掛けが早くなり、バック先制回数が多くなった。7月富山記念は準決進出、9月岐阜記念3③②⑥着と結果も付いてきている。台風の目と化すか。



### 森川 康輔(岐阜/111期)

落車負傷で5カ月欠場したが、復帰戦の8月松阪は初のS級戦でもあったが2⑥①着と2連対。その後も同月四日市1④②着、9月弥彦1⑦①着など連対多い。持ち前のスピードに磨きがかかり、航続距離も伸びている。

## GIRL'S KEIRIN (3R 4日制)

小林莉子、加瀬加奈子、中川諒子らが2強に迫る。小林はセッティングを見直し、シューズを新調して臨んだ9月松阪で早速完全V。決勝は好位確保からまくって太田り、野本伶らを一蹴した。ここも前々戦からのタテ脚勝負で結果を追求する。加瀬は相変わらず主導権を狙って出る走りに迷いが無い。集中力の高い練習で以前の力強さを取り戻して来ている。侮れない存在だ。中川も怪我を乗り越えて堅実に着をまとめる近況。連候補で見逃せない。

迎え撃つ石井は、直近の伊東でのガールズコレクションこそ高木真に叩かれて大敗を喫したが、地元の4日制トーナメントには気持ちを切り替えて臨む。当所は9月に走ったばかりで2②②着と未勝利に終わったものの、連日、原点の主導権を奪って出るレースに徹して大きな収穫を得た。それを伊東では出し切れなかったが、今回は生かしたい。児玉の出方に合わせた柔軟な走りで逆転を目指す。

女王・児玉碧衣が、地元エースの石井貴子らに威厳を示す。今年には調整方法などに悩んだ時期もあったが、47戦44勝、14Vと戦績的には順調そのもの。仕上がっていないとしても、それを感じさせない底力がある。8月名古屋でのガールズドリームレースではカマシを石井に差されて準Vに終わったものの、以降はその修正も意識した走りで結果を出している。強烈カマシで圧勝した昨年4月の当所コレクションと同様、今度はガールズトップのダッシュ、スピードで繰り出す積極策で勝つ。

### 女王・児玉碧衣が登場!!



児玉 碧衣